



# 青島の風

青島日本人学校だより  
令和2年3月10日  
校長 金森 孝子

## Congratulations !



3月7日(土)、第16期生として巣立つ小学部15名、中学部4名、計19名の児童生徒の卒業証書授与を行いました。青島日本人学校体育館で授与を受けたのは小学部の4名。リハーサルもなく緊張が高まる中での参加でしたが、凛々しい姿での入場、そして、証書授与と、とても立派な態度で臨むことができました。また、多くの児童生徒が、日本からネットを介して参加しました。担任の呼名に合わせ、タブレットの画面を通して、ほとんど時差なく「はい」と聞こえる声とその姿。その声の響きの強いこと。言葉にならない感銘を受けました。ネット参加の児童生徒には、一人一人の卒業証書を見てもらいました。在青島日本国総領事館総領事、井川原賢様にはご多忙の中にも関わらずご参列いただき、ご祝辞もいただきました。また、運営理事会理事長、藤井伸明様、PTA会長、浅井美紀様は、ネットを通してご参加いただきました。卒業生の晴れの日を、海を越えて祝い、かけがえのない時間を共有できたことを本当に嬉しく思います。皆様のご協力のおかげです。

その後、教室の方で、最後の学級活動を行いました。その様子を写真でご覧いただけます。



小学部6年は、ネット参加者がテレビ画面に映るようにして、記念撮影しました。中学部3年は、担任のスマホを通しての学級活動を和やかな雰囲気の中、行いました。画面下は、卒業証書授与の様子ですが、校長の横にはタブレットがあり、一人一人の様子が映し出されていました。技術の進歩は、私の想像を越えていました。

卒業証書について・・・昨年度に引き続き、重岡佐知子様(日鉄物産 支店長)に、卒業証書の名入れをお願いいたしました。大変立派な証書を作成することができました。また、PTAから、卒業証書フォルダーをご準備いただきました。重ねて感謝申し上げます。

明日は、2019年度を締める、修了証授与です。今年度で青島日本人学校を転出する児童生徒にとっては、最後の学級活動となります。お互いに、どの地で学ぼうとも、この青島での学び「知恵」「感動・感性」「たくましさ」「思いやり」の4つの力を意識し、切磋琢磨しながら前に進んでほしいと思います。令和の時代、グローバル化が進んだ21世紀は、児童生徒の皆さんが担っています。

この一年間、大きな事件、事故がなく、教育活動を充実していくことができたのは、学校運営理事会の皆様、PTA役員の皆様、日本人会の皆様、そして、毎日、子どもたちを元気に明るく送り出してくださった保護者の皆様のご理解、ご支援、ご協力があったからこそと、深く感謝申し上げます。

3月9日からの日本政府の水際対策強化のため、校長、教頭の2名が、8日青島を離れました。修了証書授与など、計画していたことの変更があり、児童生徒、保護者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。